

## G I G Aスクール環境下における体育授業の充実 実践研究校 研究報告

球技 (バドミントン)

山口市立小郡中学校 (山口県)  
電話番号 0839-73-0508  
メールアドレス ogori-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

### ●実践研究のねらい

- 動画を活用し、「ねらい」を可視化することで学習課題の明確化を図る。
- 動画撮影で動きを可視化し、個人の課題に対して合理的な解決方法を考える。

### ●具体的な活用方法

- ≪協働的な学び≫意見・回答の即時共有を通じた効果的なグループ別学習

### ●指導の工夫

- うまくラリーが続いていないペアの動画を紹介し、ラリーが続かない原因を考えさせた。それを基に、ラリーを続けるためのポイントをグループごとに話し合う場面を設定し、そのポイントを意識しながら練習に取り組みさせた。そして、最初に動画の中でプレーしていたペアに対して、どのようなアドバイスをしたらよいかを考えさせた。
- 自分や仲間の動きを分析して、気付いたことを伝え合い、改善点について話し合うことができるようにした。また、授業者もグループを巡回しながら、動画を基に、生徒同士がどのような話し合いを行っているかを確認し、グループでの話し合いが積極的に行われるように支援した。

### ●授業の様子



【ラリーの動画の撮影】

「40秒間ラリーを続ける」という目標でラリーの動画を撮影し、続かなかった場合にその原因を話し合った。



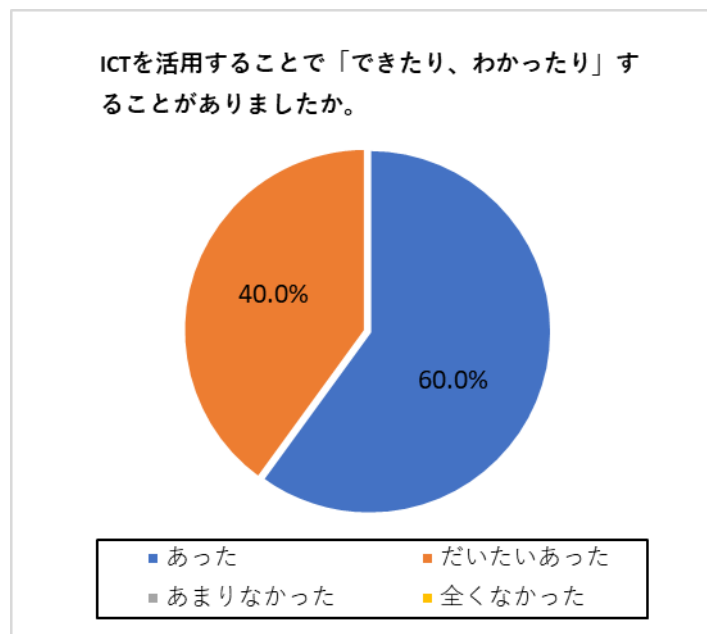
【話し合いの様子】

互いの気づきを伝え合い、課題の共有を図った。

## ●児童生徒の資質・能力の育成状況、取組み方や意識の変容など

### 【児童生徒の資質・能力の育成状況】

- 授業後に、「ICTを活用することで「できたり、わかったり」することがありましたか」という質問に、「あった」または「だいたいあった」と回答した生徒が100%だった。



### 【取組み方や意識の変容】

- 授業者が作成した動画を視聴させ、本時のねらいを視覚的に提示することで、生徒が課題をより明確に理解することができ、意欲的に活動する生徒が増えた。
- 動画を活用して、話し合いや教え合いの場面を設定したことにより、個人の課題の共有が図られ、グループで活発に対話する姿が見られた。

## ●成果

- 学習課題とその解決方法を明確にすることは、生徒の学習意欲を高める上で大切なことであり、ICT機器の活用によって、それらをより効果的に行うことができた。
- 授業者が作成した動画と自分たちで撮影した動画を関連付けることで、グループで話し合う内容の視点を明確にすることができた。

## ●課題

- 各グループの話し合いに対して、教師の支援をどのように適切かつ効果的に行うことが課題である。